

みなさん、こんにちは。気持ちのよいぼかぼか陽気とともに、平成三十年度がスタートしました。一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新しい学校に、ドキドキわくわく、緊張の毎日ですね。

進級されたみなさん、新年度をむかえて、新しく始めてみたいことや、行ってみたいところはありますか？

春の県立文化施設には、楽しい展示会やイベントがたくさんありますので、お友達を誘って遊びに行きませんか？

県立博物館

企画展「芳年」

『激動の時代を生きた 鬼才浮世絵師』



月岡芳年という浮世絵師が、江戸時代の終わりから明治時代にかけて、活躍していたのをご存じですか。芳年は急激に時代が移り変わる中で、人気絵師となり、多くの人に愛される絵をたくさん残しました。

歌川国芳という人気浮世絵師に弟子入りした芳年は、なんと十五歳でデビュー作となる絵を出版し、浮世絵師としての一歩を踏み出します。最初は歌舞伎役者や、豪快な武将の姿を多く描いていましたが、後に戦争を題材としたもの、歴史上活躍したヒーローや、美しい女のするなど、幅広い作品を手がけるようになるのです。

明治十八年（一八八五）には、人気

浮世絵師部門で第一位になるなど、当時とても人気だったことがわかります。その後、五十四歳で亡くなるまで、月を題材とした幻想的な作品や、物語や伝説を描き出したわくわくするようなものまで、数多くの浮世絵を世に生み出しました。



月岡芳年筆「月百姿玉兔」
孫悟空（個人蔵）

今回、なんと芳年の作品が約二五〇点も集結する展覧会を開催することになりました。デビュー作から晩年の傑作まで、どの絵を見ても楽しむことができます。ぜひみなさん、博物館に足を運んで、芳年の世界を満喫してみてください。

県立美術館

開館40周年記念特別展

「愛されて40年」

『100万回生きたねこ』

佐野洋子の世界展



世代を超えて読み継がれ、昨年出版四十周年を迎えた佐野洋子作『100万回生きたねこ』。

本展ではその名作原画（特別出品）を中心に、代表的な絵本の原画、小

説の原稿、女性や猫等を描いた銅版画作品を、あわせておよそ一〇〇点展示することで、絵本作家・エッセイスト、画家、佐野洋子（一九三八年〜二〇一〇年）のユニークで豊かな世界を紹介いたします。



『100万回生きたねこ』
佐野洋子 作・絵（講談社・刊）

『100万回生きたねこ』は、ミュージカルとしても上演されました。本展では、演出家のスケッチ、衣装、小道具、舞台装置などの関連美術も展示します。

佐野は、第二次世界大戦終戦後、中頃から引き揚げて山梨在住の伯父のもとに一家で身を寄せ、子供時代の三年ほどを過ごしました。絵本やエッセイから感じられる佐野の自然と生き物を見つめるあたたかい眼差しは、多感な年頃の山梨暮らしによって形成されたものかもしれません。

佐野がより身近に感じられるように、本展では彼女の幼い頃からの写真や、作画道具、愛用品なども展示します。

また、会場には『100万回生きたねこ』の主人公「とらねこ」と一緒に写真が撮れたり、絵本を読んだりできるコーナーもあり、誰もが楽しいひと時を過ごせる展覧会となっています。

特別出品について

出版四十周年と当館の開館四十

周年を記念して、本展では『100万回生きたねこ』の原画全十八点を展示します。原画保存のために、近年、展示が制限されてきた『100万回生きたねこ』ですが、会期中、展示替え（前期九点、後期九点）を行うことで、展示が特別に許可されました。あわせて描かれた当時の鮮やかさを再現したデジタルリマスター版も展示します。

県立考古博物館

開館35周年記念特別展

「古代アンデス文明展」



みなさんはどんなイメージを持ちますか？

地球儀で見るとちやうど日本の裏側に位置するそこは、距離が遠いこともあり、どこか謎に満ちた場所に思えるかもしれません。しかし、南米大陸の太平洋岸には、およそ一万五千年も前から、さまざまな文明が生まれ、滅びていったという歴史があり、その個性豊かな文化の数々は、距離や時間の隔たりをもものともしない魅力に満ち溢れています。



少女のミイラ（チリバヤ文化）

世界遺産として有名なナスカの地上絵やインカ帝国のマチュピチュなどは特に世界中で知られており、みなさんも耳にしたことがあるかもしれません。今回の展覧会は、こうした南米の名だたる文明が今に伝える文化や芸術、生活様式を、貴重な品々とともに紹介いたします。



装飾付きの壺（中期シカン文化）

南米はなかなか気軽に行ける場所ではないですが、この展示を見れば、日本に居ながらにしてはるか遠くアンデスの風と歴史を感じられることでしょう。壮大なスケールで送る一大文明展、開催期間は五月十九日（土曜日）から七月十六日（月曜日・祝日）まで。

県立図書館

資料紹介展示

「11月にもおすすめの本2018」



二〇一七年に出版された本の中から、山梨県内の公共図書館に勤める職員が、各年代別におすすめしたい本一一〇冊を選びました。

資料紹介展示「こどもにすすめたい本2018」では、これらの本を集めて展示をします。いろいろな本を実際に、手に取って読むことができます。授業で活用したい本、読み聞かせに使う本をお探しの先生方もぜひご覧ください。



今年の展示の様子

開催期間は、四月二十一日(土曜日)から五月十一日(金曜日)までです。また開催期間中の土曜日・日曜日・祝日の午後二時三十分からは「ここにおはなし会」こどもにすすめたい本バージョン」として読み聞かせも行います。あわせてお楽しみください。※四月二十三日(月曜日)、五月一日(火曜日)、五月七日(月曜日)は休館日のためお休みとなります。

山梨近代人物館



第七回展示 「明治を彩った山梨の人々」

山梨近代人物館は山梨県ゆかりの人物や県政の歴史を紹介して多くの皆さんに親しんでいただいています。平成三十年は明治改元から数えて

150年の記念の年にあたることから四月からはじまる第七回展示は、「明治を彩った山梨の人々」をテーマに、明治時代、日本の近代化に大きな功績を残した山梨県ゆかりの人々を紹介いたします。

海外に目を向けて日本の郵便制度をスタートさせた「杉浦譲」、日本のブドウ栽培やワイン醸造の基礎を築いた「高野正誠」と「土屋龍憲」、大水害で被害を受けた山林の復興のために、山梨県に莫大な寄付をした「塚本定右衛門」などなど。

山梨近代人物館には、知らないことや知りたいことがたくさんあつまっています。



「子ども向けコーナー」と「子ども向けクイズ」

また、館内には、プロジェクトアクション マッピング「笹子隧道物語」やタッチパネルで答えるクイズなどもあります。楽しいクイズで、たくさん的人物と出会うことができます。

山梨近代人物館は、開館時間中は、いつでも無料で観覧できます。

また、団体予約も受け付けています。詳しくは、電話でお問い合わせください。

電話は、〇五五・二三一・〇九八八です。

※毎月第二・第四火曜日は休館日のためお休みとなります。

県立科学館

「ゴールデンサイエンスショー」開催



ゴールデンウィークの期間中、特別プログラムとして「ゴールデンサイエンスショー」を多目的ホールにて一日三回開催します。

普段のサイエンスショーをバージョンアップした、ゴールデンウィークにしか見られない楽しい科学実験ショーを体験してみませんか。



開催期間は、四月二十八日(土曜日)から五月六日(日曜日)まで。開催時間は、午前十一時から、午後一時三十分からと四時からで、各回とも三十から四十五分間です。

事前の申し込みは必要ありませんので、直接、多目的ホールにお越しください。多くの方のご来館をお待ちしています。

詳しくは、県立科学館ホームページをご覧ください。

電話は、〇五五・二五四・八一五一です。

県立文学館

「移動文学館の紹介」



県立文学館では、展示の内容をわかりやすくコンパクトにまとめた「移動文学館」(アウトリーチ)セットの貸し出しを行っています。「石川啄木」「飯田蛇笏・龍太」「村岡花子」「宮沢賢治」です。

この四セットに新しい仲間が増えましたので、紹介します。

★「芥川龍之介の夏休み」セット

①解説パネル3枚

水泳や夏休みの宿題に取り組み、十歳、山梨を旅した十六歳、夏目漱石から手紙をもらった二十四歳、それぞれの芥川龍之介の夏休みを解説したパネル3枚のセットです。



②イラスト入り垂れ幕

つるして使えます。パネルと組み合わせてください。

③芥川龍之介スタンディ

イラストもサイズもかわいらしい、芥川龍之介のスタンディ(人型立て看板)です。

これらのセットは学校の希望でも貸し出しできます。学校でぜひ、見てくださいね。

先生方へ「博学連携のお知らせ」

美術館、博物館、考古博物館、埋蔵文化財センター、文学館、科学館、

美術館、博物館、考古博物館(埋蔵文化財センター)、文学館、科学館では、教育プログラムの開設や出前授業、貸出教材など各館の特色を生かした教育普及事業を実施いたします。

詳細は各館担当者までお気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

- 県立美術館 学芸課 電話 〇五五・二二八・三二五八
- 県立博物館 企画交流課 電話 〇五五・二六一・二六三二
- 県立考古博物館 学芸課 電話 〇五五・二六六・三八八一
- 埋蔵文化財センター 電話 〇五五・二六六・三〇一六
- 県立文学館 学芸課 電話 〇五五・二三三・八〇八〇
- 県立科学館 電話 〇五五・二五四・八一五一

美術館、博物館、考古博物館、文学館では、小・中・高・特別支援学校の児童・生徒は、常設展・特別(企画)展を無料で観覧できます。